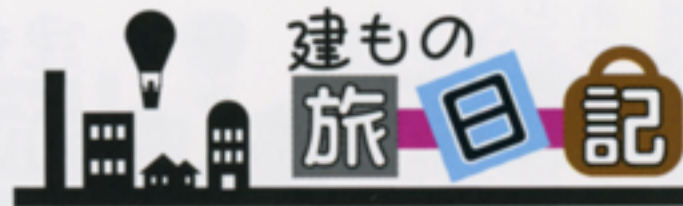




ゲーテアヌムII外観

当初は行く予定ではなかった。議論な衝撃を受けた建物との出会いもありました。一線を画す不思議な衝撃を受けた建物との出会いもありました。当初は行く予定ではなかった。

2011年が始まりま



第9回



(社)日本建築家協会 沖縄支部 会員

スイスのゲーテアヌムII

仲間 郁代 仲間郁代建築設計事務所

した。健やかに新春をお迎えることとお慶び申し上げます。私事で大変恐縮ですが今年30代最後の年となり、これから迎える40代の良い布石となるような1年にしたいと思いません。

人の美しさを問う建築

のようですが、たまたま近いみたいだからと偶然訪れることとなったドルフ・シュタイナーの劇場ゲーテアヌムII。忘れられない体験をしました。

シユタイナー (1861-1925)は 専門的な建築家ではなく、



付属棟

コルビジェの晩年の作品 ロンシャンにも影響を与えているとも言われています。 いびつに凹んだ外観は 迫害を表し、今は時期ではないことを悟る表現が なされているとともに、

人智学の創始者、色彩研究とシユタイナー教育として一般には広く知られている神秘思想家です。彼の思想は、最近広まっているスピリチュアル思想に多く共通するものですが、存命当時は迫害を受け、ゲーテアヌムIIは放火で消失した未造のゲーテアヌムIの思想を引継ぎ、先のショックで亡くなる前に病床で練った彼の案をもとに彼の死後、弟子達によって1928年に完成された建物でした。 不屈の精神を燃やされない構造に託し、RC打放しでは史上初の最大規模の最も芸術的な建築作品としての評価もあり、

家たちの手がけた建物を 見てまわりました。世界のレベルや最新のデザインに触れ感動し興奮したのを今でも覚えています。そして、そんな鉦(そうそう)たる建築群とは一線を画す不思議な衝撃を受けた建物との出会いもありました。当初は行く予定ではなかった。